

向学

徳之島高等学校 進路通信
進路指導部 進路情報係 第5号
発行日 R6. 10. 30 (水)



第2回進路希望調査結果

9月に実施した進路希望調査の結果をいくつか紹介します。進路目標を達成できるよう、学習時間や学習習慣を見直すきっかけにしましょう。※矢印は4月からの増減になります。

○進路希望

希望	進学	就職	就職進学	未定
1年	71.8% ↓ ・国公立大学 22人, 私立大学 7人, 公立短大 4人, 私立短大 1人, 専門学校 26人, 大学校 1人 ・公務員 (自衛隊, 消防など) 1人, 一般企業 7人	9.4% ↓	3.5% ↑	15.3% ↑
2年	70.3% ↑ ・国公立大学 17人, 私立大学 2人, 公立短大 4人, 私立短大 1人, 専門学校 20人, 大学校 1人 ・公務員 (自衛隊, 消防など) 2人, 一般企業 6人	12.5% ↓	4.7% ↑	12.5% ↓
3年	82.6% ↑ ・国公立大学 23人, 私立大学 12人, 公立短大 3人, 私立短大 5人, 専門学校 14人, 大学校 0人 ・公務員 (自衛隊, 消防など) 3人, 一般企業 7人	14.5% ↓	1.4% ↑	1.4% ↓

1年生は前回より進路が未定の生徒が増えました。進路実現のために具体的に何をすべきか分からない生徒が7割近くいます。夢ナビの活用や冬休みにオープンキャンパスや職場見学に参加して、積極的に情報収集をしましょう。また、担任の先生や進路指導部の先生にも相談してみよう。

2年生は前回より進路が未定の生徒が減りましたが、約半数の生徒が「進路選択に家族の意見が影響する」と答えています。本当に自分がやりたいこととは何かを明確にし、家族とも十分に話し合ひましょう。

3年生の中には既に進路が決まった生徒もいますが、到達度テストの成績を見ると高校の学習内容が十分に定着していない生徒が多いです。進学・就職に関わらず、高校で学ぶ内容を理解していないと大きな支障をきたします。例えば、進学先で留年や中退をすると奨学金が打ち切られることもあります。また、仕事を早期に辞める人が少なくないので、これまで学習してきたことを振り返り、確実に理解できるようにしましょう。

○学習時間

学習時間	1時間未満	1時間～2時間	2時間～4時間	4時間以上	
1年	平日	💀 80.0% ↑	(^_^;) 18.8% ↓	0%	(^-▽^-)v 1.2% ↑
	休日	💀 67.1% ↑	(^_^;) 23.5% ↓	(^-▽^-)v 9.4% ↑	0%
2年	平日	💀 67.2% ↓	(^_^;) 26.6% ↑	(^_^;) 4.7% ↑	(^-▽^-)v 1.6% ↑
	休日	💀 56.3% ↓	(^_^;) 25.0% ↑	(^_^;) 12.5% ↓	(^-▽^-)v 6.3% ↑
3年	平日	💀 31.9% ↓	(T_T) 15.9% ↓	(^_^;) 33.3% ↑	(^-▽^-)v 18.8% ↑
	休日	💀 29.0% ↓	(T_T) 14.5% ↓	(^_^;) 15.9% ↓	(^_^;) 40.6% ↑

1年生：平日の学習時間で1時間未満の生徒が80%に増えました。このままでは高校の学習内容の習得が難しく、進路実現は厳しくなります。各教科の宿題にしっかり取り組んでいるでしょうか。宿題は最低限取り組むべき課題です。必ず取り組みましょう。

2年生：平日の学習時間が前回より1時間未満が8.7%減り、1時間～2時間が5.1%増えました。自分の進路が明確になりつつあり、やる気スイッチが入った生徒が増えたようです。一方で到達度テストは普通科、総合学科とも5割を切っており、基礎学力が不十分です。毎日少しずつでも連動課題に取り組み、弱点を克服しよう。

3年生：進路決定者も今のままでは、学力に不安が残ります。各教科の宿題やスタサプの連動課題を確実に取り組んでいるでしょうか。卒業までに、これまでの到達度テストで6割以上得点できるよう、気を抜かず取り組みましょう。

裏面に学習時間の目安と取り組むべき内容を掲載しているので、必ず毎日取り組んでください。1ヶ月後、半年後、1年後、5年後の自分の姿を想像すると、今やるべきことが見えてくるはず！！

○進学を目指す生徒の1日の学習時間は、学年+1時間です。(土日は+2時間)各教科の取り組む内容を確認して毎日必ず取り組みましょう。

1年普通科

	平日(分)	土日(分)	最低限取り組むべき学習内容
国語	30分	90分	①授業の予習, 復習(毎日) ②現代文と古典の問題集(土日) ③常用漢字ダブルクリア(土日) ④徳高コラムと読書
数学	30分	60分	①授業の復習 ②宿題 ③週末課題
英語	30分	60分	①教科書の英文の音読(復習) ②スタサブの動画視聴/連動課題 ③授業の予習, 復習(毎日) ④休日課題(土日)
理科	10分	20分	・授業の復習 (サポートノート直し)
地歴公民	10分	20分	・授業の復習 (スタサブ, 教科書・授業ノートの見直し, 確認テスト勉強)

【〇〇の秋】

皆さん〇〇の秋と言えば何を思い浮かべますか? 食欲の秋, スポーツの秋, 芸術の秋, 徳高生の皆さんには「読書の秋」にしてほしいと思っています。

まず, 徳高生の読書量を調べてみると, 今年度4月から10月18日までの7ヶ月で, 本の貸し出し冊数は662冊。生徒一人あたりにすると2.5冊です。実際にはごく一部の生徒が多くの本を借りている反面, 全く借りていない生徒も多くいる現状です。

さて, 読書を通して, 私たちは様々なことを得ることができます。いくつかあげていきたいと思います。

①ボキャブラリー(語彙力)が増える

読書をしていると知らなかった漢字や言葉に出くわします。それらを調べる過程で多くの言葉に触れ, 皆さんのボキャブラリーが増えていきます。

②教養や知識が身に付く

読書でボキャブラリーが増えると, これまで知らなかった知識や教養を身に付けることができます。周辺の知識が増え, 皆さんの興味や関心が広がります。

③会話力や文書力が向上する

本を読み進めていく中で, 上手な言い回しや, 普段使わないような表現に触れることができます。そうすると表現が豊かになり, 自分が考えていることをしっかり相手に伝えられるようになります。

④想像力が豊かになる

本の中には挿絵が入っているものもありますが, 基本的には文章や単語から本の情景や背景, 登場人物の感情や思考をイメージすることになります。登場人物の思いや筆者が何を伝えたいかを考えることで, 皆さんの想像力が養われていきます。

⑤アイデアが得られる。

本の中には叶わないような夢のような世界が広がっていたり, 過去や未来のことを疑似体験できたりします。そこから, 多くのアイデアが得られ生活や人生の様々な場面で役に立つ大きなヒントが見つかるかもしれません。皆さんが読書で得られるものは, これだけではありません。まずは図書室や町の図書館に行ってみませんか。自分の興味ある1冊をぜひ見つけてください。また, 本校では, 徳高コラムを実施しています。先生たちが皆さんに考えてほしい今の世の中のことや地元に関する興味深い内容を取り上げています。皆さんの人生を豊かにする大きなチャンスですので, 何度も繰り返し読んでみましょう。